

バングラデシュ当局の視察がありました。（6月23日、24日）



所長室にて、代表団の皆様と撮影

日 付： 令和7年6月23日（月）～24日（火）

場 所： 成田国際空港

バングラデシュ国からの代表団による成田空港公式訪問について

バングラデシュ国では、ダッカのハズラット・シャージャラル国際空港に設ける新しい大規模ターミナル（年間見込 1,600 万人）が最適な運用となるよう、同国からの代表団が、国際保健規則（IHR 2005）に基づく入域地点（PoE）での運用および活動状況を調査・視察する目的で、成田空港を公式訪問しました。

本訪問では、大規模空港における検疫検査場、健康相談室、陰圧室、アイソレータ付き車椅子など、検疫業務に関連する施設や機材の視察を行いました。また、ベクターサーベイランス、環境衛生、緊急事態対応などの衛生調査に加え、検査を含む輸入食品監視業務の実務についても確認いただきました。

さらに、感染症の検知と対応能力、緊急時対応体制、衛生管理、訓練および人材育成など、必要なコア・キャパシティに関する情報交換を行い、相互理解と協力の促進を図りました。

代表团からは、以下のとおり、お礼の挨拶をいただきました。

(原文)

We arrived home safely and sincerely appreciate your cooperation throughout the visit.

It was a valuable opportunity to gain practical experience and deepen our understanding of the core capacity requirements for an international airport in accordance with IHR (2005).

(仮訳)

この度の訪問に際しましては、格別のご配慮とご支援を賜り、誠にありがとうございました。おかげさまで、無事に帰国いたしましたことをご報告申し上げます。

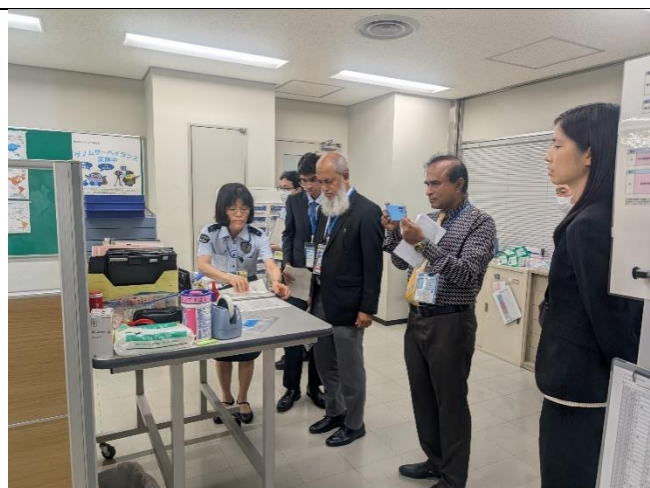
今回の訪問は、国際空港における IHR (2005) に基づくコア・キャパシティについて、実地に学び、理解を深める大変有意義な機会となりました。

また、今回の公式訪問についての代表团から WHO への報告書についてはこちら

[Learning from Narita: Japan's Airport Health Model Inspires Bangladesh's Next Leap in Border Health](#)



開会挨拶



健康相談室にて



出国相談コーナーにて



検査室にて